



水黒の世界

石井南放生誕百年を記念して

令和4年
7月23日(土)～9月4日(日)

入場無料

南 放



[白砂青松 / 町立久万美術館蔵]



[老松遍路]



[出雲大社の松 / 松山市北条ふるさと館蔵]

◆会場
愛媛県生涯学習センター内
愛媛人物博物館
3階・企画展示室

◆主催
愛媛県生涯学習センター

◆開館時間
9時～17時30分
(博物館への入館は17時まで)

◆後援
愛媛県教育委員会・松山市・松山市教育委員会
愛媛新聞社・NHK松山放送局・南海放送
テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ
愛媛CATV・FM愛媛

◆協力
町立久万美術館・松山市北条ふるさと館

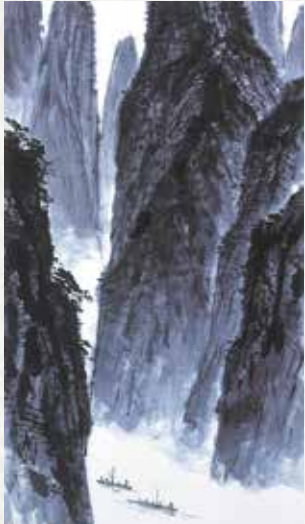
南放 水墨の世界

石井南放生誕百年を記念して



大正元年、温泉郡難波村(現、松山市)に生まれた石井南放(本名・進)は絵を描くことが好きな少年でした。愛媛県師範学校へ進学、成績優秀、絵の世界に道を求め、東京美術学校の師範科で学び、師の川崎小虎氏からは水墨画を強く勧められました。卒業制作「帯」は師の作風を慕い新興大和絵系の流れをくみます。大潮会展で特選を獲得するなどしましたが、太平洋戦争の影響で故郷に帰任、戦後は灰燼のなか愛媛の美術界立て直しに尽力、愛媛大学で教鞭をとりました。

吉田歳澤の基礎研究を確立する一方、その墨竹に触れ続けたことは南放の画業に大きな影響を与え、水墨への回帰を決定させます。歳澤が竹を愛し竹に没頭、画業を竹に集約したように、南放も好きな松に心ひかれ追いつけることとなるのです。「白砂青松は瀬戸内のシンボルといわれ、われわれの心のふるさとである」と述べ、各地の名松を、そして無名の松を描き続けました。いつしか、松を描いて南放の右に出るものはいないと評され、「松の南放」は「竹の歳澤」と並び称されるようになったのです。



「離江舟遊 / 松山市北条ふるさと館蔵」



「上行寺船繫ぎの松 / 町立久万美術館蔵」



「街道の松 / 町立久万美術館蔵」



「白雲石鏡 / 町立久万美術館蔵」



「城山 / 町立久万美術館蔵」



「黄山の松 / 松山市北条ふるさと館蔵」



「帯卒業制作 / 町立久万美術館蔵」



「門前の松 / 町立久万美術館蔵」



「写力松 / 松山市北条ふるさと館蔵」

関連講座『南放さんの思い出』受講無料

- 7月31日(日) 13時30分~(約120分) 講師：町立久万美術館 館長 高木 貞重 氏
- 要事前申込(先着順定員80名)
- 住所・氏名・連絡先を明記して、メール・電話または、ホームページの問い合わせよりお申し込み下さい。
- 会場は愛媛県生涯学習センター研修室です。

[<YouTubeライブ配信>](#)

- 申込不要・右のQRコード又は愛媛県生涯学習センターHPからYouTubeチャンネルへ当日アクセスして下さい。
- ※感染症拡大等のやむを得ない事情により、変更・中止になる場合がございます。



愛媛県生涯学習センター

指定管理者/(株)レスパスコポレーション
〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲650番地 TEL 089-963-2111/FAX 089-963-4526
URL <https://www.i-manabi.jp/>

お問い合わせ
お申し込み



- お車でお越しの方は…隣接駐車場(約350台)をご利用ください。
- バスご利用の方は…
 - 伊予鉄バスの場合 ○ 砥部方面行き→下原町バス停にて下車(徒歩約15分)
 - J.R.バスの場合 ○ 久万高原線→下原町バス停にて下車(徒歩約15分)